



継続した学習が
自分を進化させる。

本 直樹 営業店サポート部・2009年入庫
MOTO NAOKI

相対評価から絶対評価基準へ

2020年から2022年まで信金中央金庫中小企業金融推進部に出向し、中小企業の本業支援についての先進的な知見やノウハウを学びました。

出向経験の最大の気付きは、自己評価を相対評価から絶対評価基準に転換すること。金庫内のみで通用するスキルではなく、他社や他業界でも通用するスキル・知識等を身に付け、自分自身の労働市場上の価値を高めるよう努めています。

帰任後、当金庫になかった思考や人脈を持ち帰ること、当金庫の共有財産として還元することができました。

学歴よりも学習歴

出向を通じて、優秀なビジネスパーソンは大企業に勤めているから優秀なのではなく、また学歴が高いから優秀ではないと考えるようになりました。優秀なビジネスパーソンは、自らの足りない知識を補うために日々学習を積み重ねてきたからこそ、結果が出せるのだと気がきました。継続した学習が成長するために重要であると思います。